

令和7年石神井消防団始式を挙行



令和7年1月18日(土) JA東京あおば石神井支店に於いて、石神井消防団始式が挙行されました。

消防總監の代理で第十消防方面本部長ご臨席のもと、消防總監功績表彰をはじめ練馬区長賞など、78名の消防団員と6個分団が表彰されました。

また式典終了後には、発団60周年記念誌用の集合写真を分団ごとに撮影しました。



令和7年東京消防出初式に参加



令和7年1月6日(月) 東京ビッグサイト東棟屋外臨時駐車場に於いて、毎年恒例の東京消防出初式が挙行されました。

部隊検閲、徒列部隊、分列行進等に特別区消防団から162名の消防団員(石神井消防団から2名)が参加しました。



幹部視察研修会を実施

11月16日(土)と17日(日)の2日間にわたり、石神井消防団では幹部視察研修会を実施しました。

今回の研修で訪れたのは、墨田区にある東京都復興記念館・東京都慰霊堂と、福島県のいわき震災伝承みらい館で、過去の震災について学び、震災の爪痕を見学し、一日も早い復興を願ってきました。



関のボロ市にて警戒活動

関のボロ市が12月9日(月) 10日(火)に武蔵関駅周辺で開催されました。

露店がずらりと並び万灯行列もあり、大勢の人が集まる中を消防団と石神井消防署で警戒にあたりました。



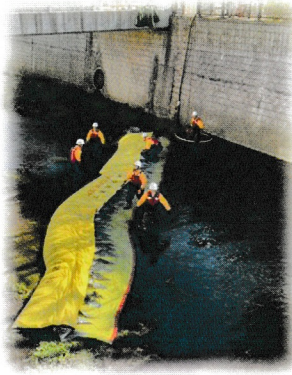
歳末消防特別警戒活動を実施

石神井消防団では、12月25日(水)～31日(火)の1週間、歳末消防特別警戒を石神井消防署と共に実施しました。

警戒活動では、各分団の受け持ち区域を可搬ポンプ積載車や徒歩にて巡回し、火の用心を呼びかけました。



総合震災消防訓練に参加



11月30日(土) 震災対応力の強化を図るため、東京消防庁管下全域において、全消防職員1万8千人及び消防団員を動員した大規模な総合震災消防訓練を実施しました。

石神井消防団では、石神井小学校付近の石神井川と石神井公園を訓練会場とし、遠距離送水訓練を行いました。

石神井川の会場では、12m下の川底に貯水シートを広げ、400m先の上流までホースを繋ぎ合わせ放水する訓練で、声をかけ合い川に入って作業をしたり、水圧を調整しながら放水するなど、有意義な訓練となりました。

地域の催し物へ参加

石神井消防団では、各分団の受け持ち区域で行われる防災訓練や様々な地域のイベント等に参加して、防災指導、広報活動、警戒活動を行っています。

会場では初期消火や応急手当のやり方を教えたり、可搬ポンプ積載車を珍しがって集まってくる子ども達に体験乗車をさせたりしたところ、子ども達は楽しんで資器材を見て触れていました。

今後お住いの地域の活動で消防団を見かけたら、遠慮なく声をかけてください。



教育への参加

令和6年12月、大泉第四小学校からの依頼で2年生、3年生の「消防の仕事」についての学習に、第7分団と石神井消防署が協力しました。

2年生は、分団格納庫の見学と可搬ポンプ積載車の乗車体験を実施し、3年生は、校庭でポンプ車の説明、防火服の着装体験や装備品の説明を受け、分団格納庫では、防火水槽と消火栓について説明を受けました。参加した児童は熱心にメモを取る姿が印象的で、多くの質問も出て団員は大変やりがいを感じました。

全国火災予防運動へ参加

火災予防運動は、毎年11月9日から11月15日（119番の日を起点とする一週間）と、3月1日から3月7日（消防記念日を最終日とする一週間）に行われています。

石神井消防団では、可搬ポンプ積載車による巡回広報活動や、駅前広場での広報活動を行いました。



新入団員の声

生まれ育ったこの地域の為に「何かできることをしたい」と思い入団しました。入団後すぐ消防ポンプ操法の練習に参加させていただきました。選手の方々が重いホースを担ぎ、走り、放水訓練をする様子を間近で見て、訓練がいざという時の為にいかに大切かを知りました。また、救命講習ではAEDの使い方をはじめ、救命活動に必要な知識を得ることができました。

入団から日が浅いですが、様々な活動、訓練、講習を体験させていただいています。この経験や知識が少しでも地域の役に立てれば良いと思っています。

第1分団 内藤大悟

